講義名	海外語学研修(ニュージーランド)			授業形態	
担当教員	中川　典子	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 ３時限		
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	ENG100

主題と概要

海外語学研修（ニュージーランド）は、2月上旬から約3週間（※予定）、ハミルトンにあるワイカト大学で第二言語としての英語（EFL）学習者に特化した英語授業に参加します。また、ホームステイや各種のアクティビティによる異文化体験により、参加者の視野を広めることも目的としています。本語学研修は、現地研修に参加するための国内での「事前研修」と「現地研修」とで構成されています。それら一連の活動（ホームステイでの滞在を含む）に適切に参加し、さらに課題をこなして初めて単位が与えられることを認識した上での参加が必要となります。

到達目標

上に挙げた全ての活動を通して、次のことを学ぶことを目標とします。
1. 日常会話に必要な英語が聞き取れるようになる
2. 日常会話に必要な英語が話せるようになる
3. 英語話者と実際に会話ができるようになる
4. 異文化圏の人々の考え方や価値観を理解し、尊重することができるようになる
4. 異文化の人々の考え方や価値観を理解し、尊重することができるようになる
5. 団体生活において自分を律することができるようになる

提出課題

1. 事前研修での課題
2. 現地での課題
3. その他の課題

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出・教員による評価後は、受講生間で共有やコメントを求めることもあります。

評価の基準

1. 事前研修への出席、および活動内容、提出物の評価（50%）
2. 現地研修への出席、および活動内容、提出物の評価（現地教員の評価を含む）（50%）

履修にあたっての注意・助言他

海外語学研修（ニュージーランド）は、日本を離れて異文化を体験することで、今まで体験したことのない様々なことが学べる素晴らしい機会を与えてくれるものといえます。学内での授業では物足りないと考え、さらに英語力を磨きたい人の積極的な参加を期待します。
ただし、現地での行動だけでなく、事前研修での課題をこなすことも必要です。また、行事への参加・貢献については、集団の中での活動となり、自分中心の行動は許されない場面も多くなります。とりわけ現地研修中は、特に参加者の安全を確保することを優先して考え、集団行動において適切な行動をとることが求められます。事前研修、また現地研修中に、それらの資質が欠如していると判断されたものに関しては、以後の研修への同行を中止する場合もあります。その場合は単位が認定されません。なお、個人旅行ではなく、団体行動であることからも、事前研修の出席は必須です。原則、毎回の出席が求められますが、所定の回数を出席しなければ単位は与えられません。

教科書

.使用しない.				

参考図書

.なし.				

その他

授業内で適宜プリントを配付します。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	○	ウ：ディスカッション、ディベート
○	エ：グループワーク	○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				

備考

備考：受講を決定する前に必ず、シラバスを熟読すること。
【コースの特徴】このコースは講義クラスではない。現地での研修をともなうため、費用がかかることに留意すること。
【履修条件】
・提出書類を期日までに提出すること。事前研修での活動は現地研修を成功させるために必須の学習であることを理解して、受講すること。

授業計画

第1回　「ガイダンス（講義スケジュール、渡航スケジュールの確認）、自己紹介シート記入」
予習内容: 第1回目の授業で配布する自己紹介のひな形に基づいて、自身の自己紹介文を英語で書き提出する。第2回目の口頭発表の準備をする。（120分）
復習内容: シラバスを熟読し、全体研修の目的や内容を理解する。配布された資料を読み返して事前研修のルールや活動内容を理解し、第2回目からの授業に備える。（120分）
第2回　「旅行者による説明、出入国手続き、英語による自己紹介（個人発表１）」
予習内容: 授業で配布する課題に取り組み、期限までに提出する。（120分）
復習内容: 現地で英語を使って自己紹介ができるように練習する。ニュージーランドの出入国手続きについて復習する。（120分）
第3回　「異文化学習・サバイバル英会話（１）」
予習内容: 授業で配布する課題に取り組む。(120分)
復習内容: 授業で扱った異文化学習への理解を深め、英語表現の復習をする。（120分）
第4回　「異文化学習・サバイバル英会話（２）」
予習内容: 自身のhometownについて調べ、発表の準備をする。（120分）
復習内容: 授業で扱った異文化学習への理解を深め、英語表現の復習をする。（120分）
第5回　「異文化学習・サバイバル英会話（３）、私のhometown（個人発表2）」
予習内容: 授業で配布する課題に取り組む。(120分)
復習内容: 授業で扱った異文化学習への理解を深め、英語表現の復習をする。（120分）
第6回　「異文化学習・サバイバル英会話（４）」
予習内容:授業で配布する課題に取り組む。(120分)
復習内容: 授業で扱った異文化学習への理解を深め、英語表現の復習をする。（120分）
第7回　「異文化学習・サバイバル英会話（５）」
予習内容: 授業で配布する課題に取り組む。(120分)
復習内容: 授業で扱った異文化学習への理解を深め、英語表現の復習をする。（120分）
第8回　「自身の国の文化について発表する（個人発表3）」
予習内容: ホストファミリーへメールを書く準備をする。（120分）
復習内容:　授業で扱った異文化学習への理解を深め、英語表現の復習をする。（120分）
第9回　「ホストファミリーへのメール（個人発表4）、英語での入国手続きの復習」
復習内容:　授業で扱った異文化学習への理解を深め、英語表現の復習をする。ホストファミリーへメールを送る。第1回目から最終回までの事前研修の復習をする。（240分）

☆事前研修の回数や内容は、状況に応じて変更される可能性があります。適宜調整しながら行います。現地研修では、ワイカト大学での英語研修とホームステイ、その他の活動がが実施されます。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

海外語学研修を通じて、「夢や志を持ち、明るく元気にどこへ出ても物怖じすることがなく、誰とでもしっかり言葉を交わすことができ、逆境でもたくましく生き抜くことができる」ことを異文化で学び、特に経済学部生に求められる「人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成果の基礎」、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、人間社会学部生に求められる「コミュニケーション能力」の修得を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教員と学生や学生同士による現地で役立つ英語表現を使った会話練習の実施、異文化における習慣や行動の違いを扱ったケースに関するグループ・ディスカッションなどの活動により、双方向授業を実施する。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし。